

## 米子がいな創生総合戦略の平成 30 年度改訂について（案）

本市は、平成 27 年 10 月に策定した「米子がいな創生総合戦略（計画期間：平成 27 年度～平成 31 年度）」に基づき地方創生の推進に取り組んでいます。

平成 29 年度の実績の検証結果と総合戦略策定以降の状況変化などを踏まえ、次のとおり米子がいな創生総合戦略を改訂します。

### 1 改訂事由

- (1) 新たに実施する施策を追加（1 件）
- (2) 取組実績及び総合戦略策定後に生じた状況変化に伴う、施策の内容または重要業績評価指標 K P I の変更・修正（3 件）

### 2 新旧対照表

#### 第 4 章 5（2）「具体的な施策」政策分野Ⅱ ひとを呼ぶ魅力あるまち米子

No.	現 行	改訂後	改訂事由等	関係課
1	◎ <u>施策分野Ⅱ－2 「若い力募集中！」若者の人口流出抑制と学生等市外転出者のふるさと回帰促進</u>	◎ <u>施策分野Ⅱ－2 「若い力募集中！」若者の人口流出抑制と学生等市外転出者のふるさと回帰促進</u> <b>&lt;&lt;具体的な施策&gt;&gt;</b> <u>Ⅱ－2－⑦ 情報発信による県外進学者等の U ターン就労の促進</u> <b>【施策の概要】</b> ○本市においては、大学などへの進学のために転出した若年者のふるさと回帰が少ないため、若い世代において大きな転出超過になっています。また、地元企業も若年者の人材不足のため、生産性の向上などの取組が困難になっています。このことから本市出身者のふるさと回帰を含めた新規学卒者等の本市への移住就労を促進していくことが求められています。 ⇒ <u>市外または県外に進学後も、本市に係る企業情報はもちろんのこと、生活、イベント、文化、歴史といった本市の各種情報を SNS 等を利用して提供することにより、シビックプライドの醸成を図るとともに、就職活動時期及び離職時期に本市への U ターンを検討してもらい、若年層の市内企業への U ターン就職を促進します。</u> <b>【重要業績評価指標 K P I】</b> ■U ターン就職の促進のに向けた取組 ⇒平成 31 年度までに、本市出身の若年層の市内企業への U ターン就職の促進に向けた取組について、効果的な手順及び体制を確立します。	<b>【施策の追加】</b>	経済戦略課
2	◎ <u>施策分野Ⅱ－6 「ヨナゴがい～な！」市の魅力の内外への情報発信</u> <b>&lt;&lt;具体的な施策&gt;&gt;</b> <u>Ⅱ－6－③ シティープロモーションの推進</u> <b>【施策の概要】</b>	◎ <u>施策分野Ⅱ－6 「ヨナゴがい～な！」市の魅力の内外への情報発信</u> <b>&lt;&lt;具体的な施策&gt;&gt;</b> <u>Ⅱ－6－③ シティープロモーションの推進</u> <b>【施策の概要】</b>	<b>【施策及び K P I の変更】</b>	秘書広報課

	<p>○本市の認知度、魅力度の向上や市民の郷土への誇りや愛着心の醸成を図っていくためには、シティプロモーションの取組を推進し、本市の暮らしやすさや地域資源などを内外に積極的に情報発信する必要があります。</p> <p>⇒<u>担当組織体制を整備するとともに、庁内に若手職員を中心とするシティプロモーション推進チームを設置し、今後のシティプロモーションのあり方や事業アイデアについて検討を行い、シティプロモーション推進に関する方向性を決定するとともに、順次事業化を図ります。</u></p> <p><b>【重要業績評価指標 K P I】</b></p> <p>■シティプロモーション推進に関する検討 ⇒早期にシティプロモーション推進に関する方向性を決定し、順次事業化を検討・実施します。</p>	<p>(省略)</p> <p>⇒<u>本市の知名度向上を図るため、シティプロモーション推進動画を作成し、イベント会場やインターネット上で公開します。また、観光、就職、移住定住、地域ニュース等の情報を盛り込んだメールマガジンを毎月送信することで、情報発信及び関係人口の濃密化を図ります。</u></p> <p><b>【重要業績評価指標 K P I】</b></p> <p>■メールマガジン登録者数(累計) ⇒平成 3 1 年度までに、8,000 人</p>		
3	<p>◎<b>施策分野Ⅱ-8 「伝えよう！おもてなしの心」外国人観光客対策の推進</b></p> <p>≪具体的な施策≫</p> <p><b>Ⅱ-8-① 外国人観光客の誘致促進</b></p> <p><b>【施策の概要】</b></p> <p>○国が、2020年の外国人観光客4千万人の誘客を目指して積極的に事業展開している中、県西部圏域では、米子鬼太郎空港の国際定期便や国際チャーター便、定期貨客船D B Sクルーズフェリーの就航、大型クルーズ客船の寄港により、訪日外国人観光客を本市に誘客する好機を迎えており、この機会を経済効果として有効に活用することが求められています。</p> <p>⇒<u>引き続き、県・市町村の枠組みを越えた広域的な観光エリアとして情報発信するとともに、市内における「免税店」や「銀聯カードを使用できる店舗」の拡大に取り組みます。</u></p> <p>※「銀聯（ぎんれん／ぎんれい）カード」は、中国の金融機関の連合組織「銀聯」が発行するキャッシュカード・クレジットカード。</p> <p><b>【重要業績評価指標 K P I】</b></p> <p>■免税店舗数 ⇒5年後（平成31年度）において、36店舗（平成26年度：18店舗）</p>	<p>◎<b>施策分野Ⅱ-8 「伝えよう！おもてなしの心」外国人観光客対策の推進</b></p> <p>≪具体的な施策≫</p> <p><b>Ⅱ-8-① 外国人観光客の誘致促進</b></p> <p><b>【施策の概要】</b></p> <p>(省略)</p> <p>⇒<u>引き続き、県・市町村の枠組みを越えた広域的な観光エリアとして情報発信するとともに、市内における「免税店」や「スマートフォン等による電子決済を利用できる店舗」の拡大に取り組みます。</u></p> <p><b>【重要業績評価指標 K P I】</b></p> <p>(省略)</p>	<b>【字句の修正】</b>	観光課
4	<p><b>Ⅱ-8-② 外国人を受け入れる地域国際化の推進</b></p> <p><b>【施策の概要】</b></p> <p>○本市には、1,000人を超える外国人が在住しており、また、米子鬼太郎空港の国際定期便や国際チャーター便、D B Sクルーズフェリーの就航、大型クルーズ客船の寄航により、訪日外国人観光客も増加してきています。このことから、今後、市民が外国人に接する機会も多くなるため、外国人にとって暮らしやすい環境づくりや訪日外国人観光客をおもてなしする市民意識の醸成を図るなど、外国人を受け入れる地域国際化の推進が必要です。</p> <p>⇒<u>外国人を受け入れる地域国際化の推進のため、在住外国人や諸外国との交流を進める市民団体と協働（実行委員会方式）で</u></p>	<p><b>Ⅱ-8-② 外国人を受け入れる地域国際化の推進</b></p> <p><b>【施策の概要】</b></p> <p>(省略)</p>	<b>【数値目標の上方修正】</b> <p>※参考 平成 29 年度参加予定団体：32 団体 (台風のため中止)</p>	地域振興課

	<p>市民と在住外国人との交流イベント「よなご国際交流フェスティバル」を開催します。また、これを通じて市民団体とのネットワークの構築を図りつつ、そのネットワークを活用して、市民に対する地域国際化の意識啓発につなげます。</p> <p><b>【重要業績評価指標KPI】</b></p> <p>■よなご国際交流フェスティバル実行委員会への参加団体数</p> <p>⇒5年後（平成31年度）において、<b>24団体</b></p>	<p><b>【重要業績評価指標KPI】</b></p> <p>■よなご国際交流フェスティバル実行委員会への参加団体数</p> <p>⇒5年後（平成31年度）において、<b>32団体</b></p>		
--	--	--	--	--